2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名　　金下建設株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　1897　　ＵＲＬ　https://www.kaneshita.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）金下　昌司
問合せ先責任者　（役職名）管理部長　　（氏名）佐藤　伸弥　　ＴＥＬ　0772-46-3151

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満四捨五入）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	7,289	23.3	198	ー	444	188.6	267	137.1
2025年12月期第３四半期	5,910	△23.2	9	△96.5	154	△59.3	113	△54.3

（注）包括利益 2026年12月期第３四半期 1,406百万円 （49.9%）　2025年12月期第３四半期　938百万円 （94.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	127.00	ー
2025年12月期第３四半期	53.41	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	26,098	21,119	79.5
2025年12月期	23,650	19,819	82.3

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　　20,739百万円　　2025年12月期　　19,453百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	ー	ー	50.00	50.00
2026年12月期	ー	ー	ー		
2026年12月期（予想）				50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	18.8	200	101.0	510	53.7	330	39.9	156.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料７ページ「２．　四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②	①以外の会計方針の変更	：無
③	会計上の見積りの変更	：無
④	修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①	期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,806,660株	2025年12月期	3,806,660株
②	期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,701,812株	2025年12月期	1,701,612株
③	期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	2,104,910株	2025年12月期３Ｑ	2,110,763株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8
３．補足情報 …… 9
四半期個別受注の状況 …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しましたが、中東情勢の緊張継続を背景としたエネルギー・原材料価格の高止まりが長期化しており、景気の先行きは、依然として不透明な状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間設備投資は一部に持ち直しの動きも見られましたが、労働者の高齢化や慢性的な人材不足に加え、建設資材価格の高止まりや資材調達における供給不安など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当第３四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、大型工事が順調に推移したこと等により、72億8千9百万円（前年同四半期比23.3%増）となりました。

利益面につきましては、売上高が増加したこと等により、営業利益は1億9千8百万円（前年同四半期は9百万円）、経常利益は4億4千4百万円（前年同四半期比188.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億6千7百万円（前年同四半期比137.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

（建設事業）

受注高は、53億2千6百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。売上高は、69億6千8百万円（前年同四半期比24.7%増）となり、セグメント利益は、売上高が増加したこと等により6億1千7百万円（前年同四半期比52.1%増）となりました。

（製造・販売事業等）

主にアスファルト合材の販売、飲食事業（回転寿司店の運営）等で、売上高は、5億8千4百万円（前年同四半期比1.2%増）となり、セグメント利益は、3千1百万円（前年同四半期はセグメント損失5百万円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より24億4千9百万円増加し260億9千8百万円となりました。増加した主な要因は、工事の前受金等による現金預金の増加や、保有株式の株価上昇により投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より11億4千9百万円増加し49億8千万円となりました。増加した主な要因は、工事の前受金による未成工事受入金の増加や、保有株式の株価上昇により繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より13億円増加し211億1千9百万円となりました。増加した主な要因は、保有株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は79.5%（前連結会計年度末は82.3%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年８月７日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,925	10,311
受取手形・完成工事未収入金等	3,094	2,535
有価証券	600	800
未成工事支出金等	348	286
その他	109	29
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	13,074	13,959
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,209	1,267
その他（純額）	565	589
有形固定資産合計	1,774	1,856
無形固定資産	6	6
投資その他の資産		
投資有価証券	8,378	9,865
その他	640	636
貸倒引当金	△222	△222
投資その他の資産合計	8,796	10,278
固定資産合計	10,576	12,139
資産合計	23,650	26,098

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,215	800
リース債務	2	2
未払法人税等	40	106
未成工事受入金	253	1,002
完成工事補償引当金	7	16
賞与引当金	－	74
その他	248	310
流動負債合計	1,766	2,310
固定負債		
リース債務	3	2
繰延税金負債	1,527	2,109
役員退職慰労引当金	519	542
その他	16	16
固定負債合計	2,065	2,670
負債合計	3,831	4,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	2,147	2,147
利益剰余金	17,654	17,816
自己株式	△5,044	△5,045
株主資本合計	15,757	15,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,696	4,821
その他の包括利益累計額合計	3,696	4,821
非支配株主持分	366	379
純資産合計	19,819	21,119
負債純資産合計	23,650	26,098

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,910	7,289
売上原価	5,208	6,362
売上総利益	702	928
販売費及び一般管理費	693	729
営業利益	9	198
営業外収益		
受取利息	32	52
受取配当金	84	181
持分法による投資利益	15	－
不動産賃貸料	27	28
その他	3	6
営業外収益合計	161	267
営業外費用		
持分法による投資損失	－	5
不動産賃貸原価	13	12
その他	3	3
営業外費用合計	16	21
経常利益	154	444
特別利益		
固定資産売却益	9	14
特別利益合計	9	14
特別損失		
減損損失	－	10
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	10
税金等調整前四半期純利益	163	448
法人税等	39	167
四半期純利益	124	281
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	113	267

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	124	281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	814	1,125
その他の包括利益合計	814	1,125
四半期包括利益	938	1,406
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	926	1,392
非支配株主に係る四半期包括利益	11	14

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	57百万円	59百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	建設事業	製造・販売事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,588	322	5,910	－	5,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	255	255	△255	－
計	5,588	577	6,165	△255	5,910
セグメント利益又は損失（△）	406	△5	401	△392	9

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△392百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△407百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	建設事業	製造・販売事業等	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,968	321	7,289	－	7,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	263	263	△263	－
計	6,968	584	7,552	△263	7,289
セグメント利益	617	31	647	△449	198

（注）１．セグメント利益の調整額△449百万円には、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△451百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各報告セグメントに帰属しない「全社資産」において、土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間において10百万円であります。

３．補足情報

四半期個別受注の状況

個別受注実績

（百万円未満四捨五入）

	受注高	
2026年12月期第３四半期	4,919百万円	10.7%
2025年12月期第３四半期	4,443百万円	△25.4%

（注）①受注高は、当該四半期までの累計額
②パーセント表示は、対前年同四半期増減率

（参考）受注実績内訳

（単位：百万円）

区分			2025年12月期 第３四半期		2026年12月期 第３四半期		比較増減	増減率
建設事業	土木	官公庁	2,609	(58.7%)	2,764	(56.2%)	155	6.0%
		民間	828	(18.6%)	952	(19.4%)	124	15.0%
		計	3,437	(77.4%)	3,716	(75.5%)	280	8.1%
	建築	官公庁	5	(0.1%)	217	(4.4%)	213	－
		民間	1,001	(22.5%)	986	(20.0%)	△16	△1.6%
		計	1,006	(22.6%)	1,203	(24.5%)	197	19.6%
	合計	官公庁	2,614	(58.8%)	2,982	(60.6%)	368	14.1%
		民間	1,829	(41.2%)	1,938	(39.4%)	109	5.9%
		計	4,443	(100.0%)	4,919	(100.0%)	477	10.7%

（注）（　）内のパーセント表示は、構成比率